

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	やまびこ茅ヶ崎駅前教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士で意見を積極的に交換できる環境づくりを行っています。そのため、多様な視点からのアイデアが生まれ、より良い支援に繋げることができています。	職員同士が日常的に声を掛け合い、気が付いたことをすぐに共有できる環境づくりを工夫しています。また、こども一人ひとりの様子について定期的に振り返る時間を設け、支援の方向性を確認しています。	より一層職員間の情報共有を充実させて、支援の向上に努めています。また、外部研修への参加などを通して専門性を高めています。
2	絵本専門士が在籍しており、発達段階や特性に応じた絵本の選書や読み聞かせを実施しております。絵本の読み聞かせを通して、ことばや想像力の育ちにつなげていきます。	読み聞かせの際には対話的な読み聞かせを心掛け、子どもが主体的に参加できるよう問いかけを取り入れる等の工夫を行っています。また、保護者へのおすすめ絵本の紹介として毎月図書だよりを発行し、家庭との連携に努めています。	職員同士で読み聞かせの工夫やこどもの反応を共有し、支援の質の向上を目指します。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との継続的な関わりが持っていない。	利用児童の年齢や発達特性、安全面での配慮を優先しているため、地域行事への参加や外部交流の機会が少ない状況となっています。	地域との直接的な交流は実施が難しいため、行事を活動の中に取り入れる工夫を行っております。今後はより地域を感じられるよう、地域の行事や特性を活動の中に取り入れていくことが課題です。
2			
3			